

実績確認概要書

平成 25 年 2 月 15 日
ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	灯油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0060
排出削減事業者名	キンキ寝具株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 三井住友ファイナンス&リース株式会社 (その他関連事業者名： なし)
事業実施場所	キンキ寝具株式会社 (住所：大阪府大阪市東淀川区豊里3丁目7番43号)
事業の概要	灯油ボイラ1台を都市ガスボイラ4台へ更新する。ボイラ更新を実施することにより、ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008年度：153 tCO2/年、 2009年度～2012年度：457tCO2/年 (事業実施期間合計1,981tCO2)
国内クレジット認証期間	開始予定日 2008 年 12 月 8 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2012 年 1 月 6 日～2012 年 12 月 3 日 (第4回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	426tCO2 (2012 年 1 月 6 日～2012 年 12 月 3 日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
<p>排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること</p>	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 4回目の実績確認であり、該当しない。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働の確認 事業実施サイト視察時に導入された設備が稼働していることを目視確認するとともに、事業者への質問やガス会社からの請求書を確認した結果、導入設備は実績報告期間において稼働していた事を確認した。</p> <p>3) その他承認排出削減事業計画から重要な変更がない事を、事業者へのヒアリングにより確認した。</p>
<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 事業実施サイトの視察、事業者への質問や、ガス会社からの請求書の確認により、承認されたモニタリング方法通りに、モニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量は使用していない。 また、現地訪問時の目視確認、事業者への質問の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、都市ガス使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p>

	事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2012 年 1 月 6 日から 12 月 3 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
なし

6. 特記事項

排出削減量に相当する省エネルギー量について原油換算 22KL であることを確認した。

以上